

2021 年度

# 日本マネジメント学会

## 第 84 回全国研究大会

統一論題

資本主義社会とマネジメント

ーサステナビリティの全体最適と個別最適ー



2021 年 10 月 2 日（土）～3 日（日）



〒263-8588 千葉県稲毛区穴川 1-5-21

日本マネジメント学会  
会員各位

## 日本マネジメント学会第 84 回全国研究大会のご案内

日本マネジメント学会第 84 回全国研究大会を、2021 年 10 月 2 日(土)、3 日(日)と Zoom によるオンライン形式にて実施することになりました。統一論題テーマは「資本主義社会とマネジメントーサステナビリティの全体最適と個別最適ー」です。

初日のセッション 1 は実務家の 3 名にお越しいただき、サステナブルであるための自動車リサイクルの制度設計、外部性のビジネス化、江戸時代に創業された事業の継承の 3 つの観点よりご報告いただきます。基調講演者としての招聘にも値する 3 名の登壇者のご報告やご議論は、経営学研究に大きな示唆を与えてくださると思います。二日目のセッション 2 では若手の 3 名の研究者より、会計学、戦略論、組織論の観点から経営学とサステナビリティについて議論していただきます。次世代を担う研究者のご報告や質疑により、新たな視点を得ることができるでしょう。

一日目には国際セッション報告、二日目には山城賞受賞者報告、そして自由論題は両日で 15 本と、多くの最新研究成果が報告されます。また一日目の最後には、前学会長の亀川雅人先生による「資本主義経済における株式会社の研究ー株主資本主義とステークホルダー資本主義ー」と題した特別講演もごぞいます。

今回の全国研究大会も前回同様のオンライン開催であるため、大会参加費は無料です。全国研究大会予稿集は、後日ホームページからダウンロードできるようにいたします。また、Zoom のミーティング ID とパスワードにつきましては郵送にて皆様にお届けする予定です。

オンラインのため旧交を温めたり、新たな出会いを得たりと、会員相互の交流の機会を持つことができず残念ですが、開催校として実り多き全国研究大会にすべく精進していく所存です。会員の皆様のご参加を大会実行委員一同、お待ち申し上げます。

日本マネジメント学会 第 84 回全国研究大会 実行委員会

大会実行委員長 栗屋仁美 (敬愛大学)

大会実行委員 佐竹恒彦 (敬愛大学)

平屋伸洋 (明治大学)

☆連絡先 E-mail [h-awaya@u-keiai.ac.jp](mailto:h-awaya@u-keiai.ac.jp)

〒263-8588 千葉県稲毛区穴川 1-5-21

敬愛大学経済学部 栗屋研究室

# 日本マネジメント学会 第84回全国研究大会プログラム

## 統一論題 「資本主義社会とマネジメントーサステナビリティの全体最適と個別最適ー」

10月2日(土) オンライン開催 (zoom)

■9:45~10:00 開会の挨拶

学 会 長 松村洋平氏 (立正大学)  
大会実行委員長 栗屋仁美氏 (敬愛大学)

■10:00~12:00 統一論題セッション1 企業・事業・制度のサステナビリティ

司会: 大野和巳氏 (文京学院大学) [報告: 40分、討論: 70分 計 190分]

10:00~10:40	報告者1: 阿部知和氏 (公益財団法人自動車リサイクル促進センター 専務理事) テーマ1: 自動車リサイクルの現状と循環型社会を目指した取り組み
10:40~11:20	報告者2: 近藤高行氏 (会宝産業株式会社 代表取締役社長) テーマ2: 創業時からのSDGsによる経営
11:20~12:00	報告者3: 飯沼一喜氏 (株式会社飯沼本家 専務取締役) テーマ3: SAKE文化創造企業への取り組み

12:00~13:00 昼休憩 (理事会開催)

■13:00~14:10 統一論題セッション1 (パネルディスカッション)

代表質問者: 當間政義氏 (和光大学)

14:10~14:20 休憩

■14:20~15:50 自由論題セッション1 [報告: 25分、コメントおよび質疑: 15分 計 40分]

		A会場	B会場	C会場
14:20 ~ 15:00	報告者	野林晴彦氏 (北陸学院大学 短期大学部)	荒 友香利氏 (国際医療福祉大学大学院)	【国際セッション】 村瀬慶紀氏 (常葉大学)
	テーマ	パーパスと経営理念ー日本における欧米からの経営理念類似概念の影響ー	コロナ禍で健康経営の取組みが企業の業績に及ぼす影響の検証	An Analytical Model of Knowledge Transfer and Educational Practice in Global Hotel Chains
	コメンテーター	村山元理氏 (駒澤大学)	藤井辰朗氏 (中部大学)	
	司 会	井上善博氏 (神戸学院大学)	清水健太氏 (松蔭大学)	郭 智雄氏 (九州産業大学)
15:05 ~ 15:45	報告者	後藤浩士氏 (九州共立大学)	鈴木秀一氏 (立教大学)・羽田明浩氏 (国際福祉医療大学)・平鹿一久氏 (セブン銀行)	税所哲郎氏 (国土館大学)
	テーマ	企業統治と地域社会との関係性ーCSRを中心概念とした考察ー	ウィズコロナのヘルスケア経営戦略: 両利き経営の可能性	ベトナムにおけるコングロマリットに関するー考察ーマサングループの事例を中心としてー
	コメンテーター	世良和美氏 (東洋大学現代社会総合研究所)	田中克昌氏 (文教大学)	高垣行男氏 (元駿河台大学)
	司 会	瀬戸正則氏 (広島経済大学)	松原茂仁氏 (星城大学)	呉 賛氏 (徳山大学)
15:50 ~ 16:30	報告者	堀野亘求氏 (敬和学園大学)	宮辻 涉氏 (広島経済大学)	白 娜仁格日樂氏 (広島経済大学大学院)
	テーマ	創設期における中間支援組織機能に関する考察ー新発田市中間支援推進協議会の事例をもとにー	不妊治療と仕事の両立支援に関するー考察	欧米主要小売企業に見られるマーケティング思想の批判的考察ー日本と中国における販売行動を中心としてー
	コメンテーター	松本 潔氏 (自由が丘産能短期大学)	池田玲子氏 (羽衣国際大学)	塗茂克也氏 (千葉経済大学)
	司 会	水野基樹氏 (順天堂大学)	田口智子氏 (北翔大学短期大学部)	中村 圭氏 (島根県立大学)

16:30~16:40 休憩

■16：40～18：00 特別講演

講演者：亀川雅人氏（日本マネジメント学会前会長・文京学院大学副学長・立教大学名誉教授）  
 テーマ：資本主義経済における株式会社の研究－株主資本主義とステークホルダー資本主義－  
 司会者：粟屋仁美氏（敬愛大学）

10月3日（日） オンライン開催（zoom）

■9：55～ 連絡事項ご案内

■10：00～11：30 統一論題セッション2 経営学とサステナビリティ

司会：細萱伸子氏（上智大学） [報告：30分、討論：70分 計160分]

10：00～10：30	報告者1：平屋伸洋氏（明治大学） テーマ1：業績モメンタムとマネジメント
10：30～11：00	報告者2：橋本倫明氏（東京都市大学） テーマ2：ダイナミック・ケイパビリティ経営とサステナビリティ
11：00～11：30	報告者3：安田直樹氏（立教大学） テーマ3：企業行動理論（behavioral theory of the firm）と企業の長期的存続

11：30～11：35 休憩

■11：35～12：45 統一論題セッション2（パネルディスカッション）

代表質問者：杉田 博氏（石巻専修大学）

12：45～13：45 昼休憩（第85回大会委員会開催）

■13：45～14：30 山城賞受賞者報告

受賞者：小沢一郎氏（専修大学）  
 テーマ：進化的イノベーションのダイナミクス：変革期を超越する組織能力マネジメント  
 司会：山城賞委員会委員長 辻村宏和氏（中部大学）  
 コメンテーター：櫻澤 仁氏（文京学院大学）

14：30～14：40 休憩

■14：40～16：05 自由論題セッション2 [報告：25分、コメントおよび質疑：15分 計40分]

		A会場	B会場	C会場
14：40 ～ 15：20	報告者	今井範行氏（名古屋国際工科専門職大学）	東 俊之氏（長野県立大学）	桑原重雄氏（法政大学大学院）
	テーマ	トヨタ生産方式と組織改革－近年のトヨタの企業体質の強化－	オープンファクトリーによる「協働の場」の構築に関する一考察	中小小売業における脱コモディティ化イノベーションに関する一考察
	コメンテーター	宮川 宏氏（専修大学）	大平義隆氏（北海学園大学）	芳賀英明氏（松山大学）
	司会	蜂巢旭氏（東洋大学）	今井重男氏（千葉商科大学）	東 史恵氏（嘉悦大学）
15：25 ～ 16：05	報告者	山元 証氏（法政大学大学院中小企業研究所）	文 載皓氏（常葉大学）	藤原 章氏（長崎総合科学大学）
	テーマ	精密金型及び金属プレス加工業における労働生産性に関する一考察	テレワークにおける組織パフォーマンス－多国籍企業の支社を中心に－	「中期戦略分析ツール」の展開による戦略不全からの脱却
	コメンテーター	奥山雅之氏（明治大学）	平井直樹氏（立教大学）	亀倉正彦氏（名古屋商科大学）
	司会	木下耕二氏（九州産業大学）	齋藤香織氏（岩手県立大学）	小具龍史氏（二松学舎大学）

■16：10 閉会の挨拶 組織委員長 井上善海氏（法政大学）